大阪公立大学
Osaka Metropolitan University
学術情報リポジトリ

『女子大文学』の終焉を迎えて(最終記念号)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2009-08-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 安藤, 幸江 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10466/2569

『女子大文学』の終焉を迎えて

『女子大文学』は、1951年３月31日に産声を上げました。その記念すべき創刊号は、「大阪女子大學文學会」による発行で、当時の大阪女子大学学長、故平林治徳教授の「發刊の辭」に始まります。そこには、「『女子大文学』が漸く生まれました。ささやかなものですが私たちとしては感無量といふところです。」と、発刊の喜びが、関係者を代表して、述べられています。

大阪府女子専門学校時代にも『國文國史』、『家政理學』という二つの雑誌が数年間発行されたようですが、戦争のため、廃刊となりました。戦後数年を経て、各学会や大学の機関誌の出版が賑やかとなり、本学でも、その仲間入りをすべく、『女子大文学』の発刊となりました。平林学長は、「機關雑誌により、教授學生の發表意欲を刺激するのみならず、大學使命の一つ、ユニヴァーシチ・エックステンションの一助ともなり、學問の進歩に益することは少なくない」と、大学紀要の役割について先見の明を述べておられます。そして「將來、學を愛する人士の協力と援助とにより一人前に成育することを心から願って」、発刊の辞を終えておられます。

事実、「學を愛する人士の協力と援助とにより」、『女子大文学』は、「一人前に成育」しました。これまでの歩みを見ると、第6號（1954年２月）までは英文学科と国文学科の合同機関誌でした。第７号より、学科別に独立して、「外国文学篇」と「国文篇」となり、「號」の文字も今風となりました。これが第51号（1999年３月）まで続きました。しかし、大学の改組により、それまでの学芸学部・英文学科は1999年４月１日から、人文社会学部・人文学科・英語英米文学専攻となり、それに呼応して、「外国文学篇」は廃刊になり、「英語学英米文学篇」（2000年３月、創刊）となりました。

しかし、現在の第６号をもって、『女子大文学　英語学英米文学篇』は、最終号となり、54年にわたり発行されてきた『女子大文学』は、その使

命を終え、廃刊となります。それは、2005年4月1日から大阪女子大学は大阪府立大学、大阪府立看護大学と統合されて、新しい大阪府立大学となって、生まれ変わるからです。

来年度からは、大阪府立大学・人間社会学部・言語文化学科・英米言語文化学コース（学部）と大学院人間社会学研究科・言語文化学専攻・英米言語文化学分野の機関誌が刊行されます。

次頁以下に『女子大文学』創刊号から『女子大文学　英語学英米文学篇』第5号までに掲載された論文のタイトル・執筆者名などを、年代順・各号別に挙げていますので、ご覧ください。なお、表記は、見易さを考慮して、統一していますので、ご了承ください。

これまで『女子大文学』をご支援いただきました皆様方に、この場を借りて、心から御礼申し上げます。

2005年3月
英語英米文学専攻主任
安藤　幸江